



令和6年2月27日

第3回学校運営協議会を開催しました

2月13日（火）に、令和5年度 館林市立第三中学校 第3回 学校運営協議会を、三中の図書室で開催しました。学校運営協議会委員、館林市教育委員会学校教育課、三中の担当職員が出席し、本年度の成果と課題、来年度の取組について熟議を行いました。

出席者

青柳区長、六郷地区体協副支部長、主任児童員代表、元学校評議員、西公民館長、三野谷公民館長、館林商工高校長、第六小学校長、第七小学校長、第十小学校長、館林総合福祉センター長、学識者、第三中学校長、第三中学校教務主任、CSディレクター、館林市教育委員会学校教育課指導主事

学校運営協議会の内容

- (1) 第2回学校評価アンケートの結果についての報告、質疑
- (2) 熟議「令和5年度の成果と課題、令和6年度の取組について」

熟議での主な意見

【保護者の学校評価・情報発信について】

学校の行事への保護者の参加率が高かった。子どもたちの様子を見たいと思っている親が多いと感じた。学校だよりなどの通信だけでなく、実際に生徒の活動を見る機会を様々な場面で作れるとよい。成果を子どもの姿で評価してもらえようようにしたい。

【交通安全・危機管理について】

交通事故防止については、評価は高いが事故がなくなったわけではない。小学校と連携した見守り隊などの協力支援と合わせて、子どもたち自身が「自分の身は自分で守る」という自己管理能力の育成も推進していきたい。

【地域協働活動・地域連携について】

現在の教育活動の中で行っているものをより充実させていくため、学校運営協議委員の意見や助言をいただきながら、地域の方の力をお借りして進めていきたい。

【地域ボランティア・日本語学級支援について】

日本語学級の日本語指導にかかわる人手不足は本校の喫緊の課題である。十小の募集方法等も参考にして、市広報へのボランティア募集記事の掲載依頼をするなどして、早急に進めていきたい。

